

簿記論【ミニテスト】

基礎マスター
速修コース

問題ーテキストNo.1・第3回

制限時間 5分

次の問に答えなさい。

問1 次の一連の取引について、A社及びB社の仕訳を示しなさい。なお、商品売買については三分法により処理すること。

- (1) A社はB社に商品40,000円の注文を行い、代金のうち15,000円を現金で支払った。
- (2) A社はB社より、上記(1)の商品を仕入れ、代金の残額については掛とした。

問2 次の一連の取引について、仕訳を示しなさい。

- (1) 前期末に売却した土地の売却代金40,000円について、当期に全額を相手先振出の小切手で受け取った。
- (2) 従業員の給料95,000円の支払いにあたり、源泉所得税等3,200円を差し引いた残額を当座預金から支払った。
- (3) ① 従業員の出張にあたり、旅費交通費の概算額30,000円を現金で渡した。
② 出張中の従業員から現金80,000円の送金を受けたが、その内容は不明である。
③ 出張中の従業員が帰社し、上記②の送金は得意先からの売掛金の回収額であることが判明した。
④ 旅費交通費の精算を行った結果、出張費用が35,000円で確定したため不足額を現金で支払った。

簿 記 論【ミニテスト】

基礎マスター
速修コース

答案用紙ーテキスト№.1・第3回

得 点	会 員 番 号							
／50								
	氏 名 (カ ナ)							

(注) 氏名はカタカナでのみ記入をお願いします。

問 1

(単位：円)

		借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
A	(1)				
	(2)				
B	(1)				
	(2)				

問 2

(単位：円)

		借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
(1)					
(2)					
(3)	①				
	②				
	③				
	④				

簿記論【ミニテスト】

基礎マスター
速修コース

解答ーテキストNo.1・第3回

問 1		(単位：円)				
		借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額	
A 社	(1)	前 渡 金	15,000	現 金	15,000	5
	(2)	仕 入	40,000	前 渡 金 買 掛 金	15,000 25,000	5
B 社	(1)	現 金	15,000	前 受 金	15,000	5
	(2)	前 受 金 売 掛 金	15,000 25,000	売 上	40,000	5

※「前渡金」勘定は「前払金」勘定でも正解とする。

問 2		(単位：円)				
		借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額	
(1)		現 金	40,000	未 収 金	40,000	5
(2)		給 料 手 当	95,000	預 り 金 当 座 預 金	3,200 91,800	5
(3)	①	仮 払 金	30,000	現 金	30,000	5
	②	現 金	80,000	仮 受 金	80,000	5
	③	仮 受 金	80,000	売 掛 金	80,000	5
	④	旅 費 交 通 費	35,000	仮 払 金 現 金	30,000 5,000	5

【解答への道】

解答参照